

女性のためのがん検診のご案内

町では、次のとおり子宮がん・乳がん検診と骨粗しょう症検診（補足日のみ）を行います。定期的に検診を受け、自分の体の状態を確認しましょう。

日野町がん予防
キャラクター
がんけん



集団検診 ☎ **事前予約が必要です（電話 72-1852）**

予約受付期間：各検診日の前日（土日を除く）まで

	対象者	検査項目	自己負担金	持ち物
子宮がん検診	20 歳以上 （平成 14 年 4 月 1 日より 前に生まれた人）	子宮頸部の細胞診	400 円	・がん受診券 ・予約票 ・問診票 ・健康手帳 ・無料クーポン （HPV 検査の人のみ） ・マスク※ 2
	30 歳から 39 歳の人 （昭和 57 年 4 月 2 日から平 成 4 年 4 月 1 日生まれの人）	HPV 検査 （子宮頸がんの原因とされる HPV ウイルスの検査）	無料	
乳がん検診	40 歳以上で 昨年未受診の人 （昭和 57 年 4 月 1 日より 前に生まれた人）	マンモグラフィー検査※ 1 49 歳以下：2 方向	500 円	
		50 歳以上：1 方向	400 円	

※ 1 平成 30 年より乳がんの視触診はなくなりました。マンモグラフィー検査のみです。

※ 2 新型コロナウイルス予防対策のため、マスクの持参にご協力をお願いします。

受付
時間

午前 9 時 30 分～午前 10 時 30 分 / 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
※新型コロナウイルス対策として密集・密接を防ぐため、予約時に受付時間を指定します。
指定の受付時刻にお越しください。

実施日	会 場	対象地区	
9 月 3 日（金）	山村開発センター	午前	根雨 1・4・5・6 区
		午後	根雨 2・3 区、津地、下榎 2 区、上本郷、下本郷、榎市、小原、別所
9 月 17 日（金）	町公民館	午前	下黒坂、根妻、下菅、中菅、中菅中央、近江、畑、小河内、布瀬谷、井ノ原、諏訪、下・中・上上菅、漆原、下福長
		午後	黒坂 1・2・3・4・5・6・7 区、久住
10 月 7 日（木）	山村開発センター	午前	三谷 1・2 区、貝原、舟場、野田、安原、下榎 1 区
		午後	高尾、後谷、金持、板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土
10 月 30 日（土） 午前のみ	山村開発センター	・補足日のみ「骨粗しょう症検診」を受診することができます。 （骨粗しょう症のみの受診も可能）	

- ・乳がん検診は、40 歳以上の昨年未受診の人を対象としています。受診券の乳がん検診の欄に（済）の印がついている人は、昨年受診していますので、原則今年は対象ではありません（受診を希望される人は健康福祉センターまでご連絡ください）。
- ・ HPV 検査を希望する人は、受診券と同封されていた「無料クーポン」を持参ください。
- ・ 乳がん検診は、午前午後それぞれ申込み先着 25 人まで。申込み多数の場合は、お断りする場合があります。

個別検診

子宮がん検診（日野病院のみ、毎週火曜日午前）
自己負担金：700 円
※要事前予約
※希望者には問診票を送付します。事前に健康福祉センターへご連絡ください。

【申込みおよび問合せ先】町健康福祉センター（電話 72-1852）



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

鉄欠乏性貧血の原因は？ 大腸がんの可能性も

貧血はありふれた病気で、あまり心配するほどの病気ではないと思っていまいませんか。女性のなかには「私は若いころから貧血です。だから慣れっこです」という人もいますが、本当に大丈夫でしょうか。

この場合、多くの人は生理出血による鉄欠乏性貧血のことを想定しているのだと思います。最近、鉄欠乏性貧血で精査し、大腸がんであった症例が続いたので鉄欠乏性貧血についてお話ししたいと思います。

鉄不足⇨出血を来す病気 出血部位の精密検査を

鉄欠乏性貧血は、その字の通り鉄が不足して起こる貧血です。赤血球は鉄分を含んでいるので、鉄が不足すると赤血球を作ることができません。しかし、通常の食事をしていれば鉄不足になることはほとんどありません。

女性では生理出血が多い時、妊娠時は鉄不足になります。しかし、男性や閉経後の女性で鉄不足になれば、何らかの持続する出血がある、つまり出血を来す病気があることになります。

出血をおこす部位は消化管（血便、下血）、尿路（血尿）、そして女性では不正性器出血が加わります。つまり、鉄欠乏性貧血と診断されたなら、その原因としてこの3カ所の精密検査を行う必要があります。

消化管では胃カメラ、小腸・大腸検査、超音波検査、尿路系では検尿、超音波検査、CT、女性にはさらに子宮卵巣の超音波、CTなどが必要です。尿路系や婦人科系の検査は苦痛が少ないので受ける人が多いのですが、胃カメラや大腸検査を嫌がる人が多く見られます。

しかし、鉄欠乏性貧血の原因で最も重大で頻度の高い疾患は、胃がん、大腸がんです。痔疾患があり出血している場合は鉄欠乏性貧血の原因である可能性もあります。大腸がんがないという証明にはなりません。これまでも多くの患者さんが、痔疾患があることで安心してしまい、大腸がんを見逃してしまっています。痔疾患があっても、一度は大腸の検査が必要です。

大腸カメラ撮影と CT大腸撮影

大腸の検査には、大腸カメラとCTを用いた大腸撮影があります。大腸カメラは、下剤を多く飲んで腸を

きれいに洗浄して肛門よりカメラを挿入します。下剤の服用がやや大変なものと、カメラの挿入時に腹部の張りや腹痛が起こることがあるため、どうしても受けたくない人はまずCTによる大腸撮影をお勧めします。

CT大腸撮影は、大腸カメラに比べ少ない下剤でよく、肛門からカメラではなく空気を入れるため、より楽な検査です。まずは、CT大腸撮影をして、異常があれば大腸カメラを再度行う方法が可能です。

鉄欠乏性貧血には、必ず何らかの病気が存在します。主治医の先生と相談し、しっかり精査・治療してください。

